

「台風をつくる(4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

「台風づくり」の活動が面白かったので、図に乗って、別のクラスでは、もっと本物らしい模型を作らせてみたくなった。今度は、青い画用紙ではなく、日本列島付近のカラーの地図(A4版)を用意した。



「日本付近の略地図」大日本の教科書に載っている、「台風の雲画像変化」に合わせて、範囲を決めた。陸地を一様に緑にせず、もっとリアルな画像にすればよかったと、あとから思った。(2ページ目に、印刷用の拡大画像あり。)



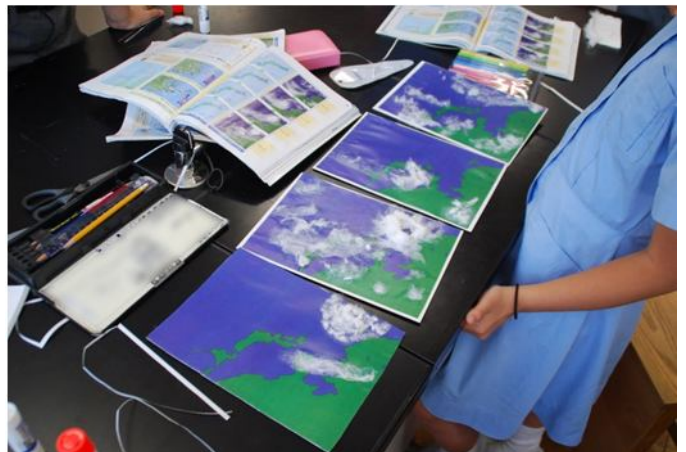
「各研究所の台風製作風景」 あーだこーだ楽しそう

今回は、大日本の教科書に載っている、台風の時系列画像(4枚)を使った。4人の研究所(班)で分担し、一人が1画面の「台風製作」を担当する。台風の様子がはっきりしている画像よりも、実は衰退時のほうが、表現が難しいようだ。



「細部にまでこだわった作業」ピンセットと竹串も

このクラスでは、4人で協働して、「4連作」を作ることになったので、一人ひとりの気合の入り方もちがっていた。理科室のピンセットや、竹串も使って丁寧に作っている。台風本体だけでなく、台風周辺の前線や低気圧の雲も、細部まで表現しようと、努力する姿が見られた。最後にできあがった4連作の「作品」を並べてみた。



【子どものノートから】

- ・台風のもけいづくりは、とても楽しかった。最初は、わたをつけるのがむずかしかったけど、だんだんなれてきた。
- ・2研(2班)のを、4枚ならべてみた。台風の動きや、雲のあつさの変化がよくわかる。
- ・とても簡単なので、家でもやってみたいです。冬型の気圧配置のも作ってみたい。

